



市史だより

第297号

令和5年12月1日

小松市史担当



11月22日の市議会全員協議会で、宮橋市長が未来型図書館について、芦城公園内の市公会堂を解体し、その跡地周辺に建設する方針を明らかにされました。整備に伴い、博物館、図書館も複合型施設として未来型図書館に集約することを示されました。博物館は、歴史・民俗資料を中心に収蔵することで、市史編纂事業で調査された数万点の資料もこの中で活かされ、広く市民の供用に資することを願っています。

ただ今、市史担当では、『新修 小松市史』の掲載資料や調査時のまま保管されている資料の整理、データ化に臨んでいます。この中には原本が紛失した資料もあり、こうした貴重な資料を後世に伝えるべく励んでいます。

『新修 小松市史 通史編Ⅱ』見どころ



前号の続きで、第5章第4～6節を紹介する。第4節は「移民」、第5節は「民間医療と社会福祉」、第6節は「近代の宗教」を取り上げる。

移民関係は、この市史編纂事業で、特に力を入れた項目で、国内では北海道移民、国外ではブラジル移民を中心に当時の状況を明らかにした。これらの調査は事業が始まって以来、地道に続けられ、現地にも赴き、当時の資料の閲覧や現場の状況を確認した。ブラジル移民については、石川県海外移住家族会の協力も得て、日系5世の方との協力も図り、音声資料も手に入れた。本文では数名を取り上げ、その活躍を詳述する。



文化勲章受章の勝木保次氏



環境庁長官に就任した石本茂氏

生活困窮者の対策も大きな社会問題であり、明治期、真宗大谷派の6ヶ寺と教務所とで、八日市町に公済舎を建設し、救済に当たった。その後、県の認可が下り、向本折町に広済舎(写真右)を新築し、現在の松寿園へと繋がっていく。その他、善隣館建設運動も含め、社会事業の実態を明らかにする。

近代の宗教では、この地が真宗大谷派に多く属することから、負債問題を抱えた本山の改革とこの時期の加賀地域の門末(檀家)の動きを振り返る。



清丸耕摩家が開拓したコーヒー樹5000株（「写真帖」転載）

当地域の医療は、明治維新时期にいち早く西洋医学を吸収し、傷病者の治療ばかりでなく、教育・文化・体育などの分野にも目を向け、住民の健康で文化的な生活のための医療を志した。その先駆者が九思塾を開いた清水立昌であり、養成所を開設した田中信吾であった。

その精神を受け継ぎ、当地は多くの医師が生まれた。本文では、マタニティ医療に尽力した荒木家、文化勲章受章者(写真左)を輩出した勝木家、国保の重要性を啓蒙した加登家を特筆する。また、看護師の労働環境改善に参議院議員に当選した石本茂氏(写真右)も取り上げる。



広済舎 昭和25年(市博提供)

市史編纂事業をふり返って

市史編纂事業は全20巻を刊行しましたが、調査・研究に使った資料は、山積みのままになっており、現在、その整理に毎日追われています。事業が終わったことで、この「へんさんだより」も今年度でひと区切りとし、残された号では、この事業で際立った事項を取り上げます。今回は、市史講座(I期分)を紹介します。)

回	月日	テーマ	講師	回	月日	テーマ	講師
1	H10.07.25	小松城・お城のようす	犬丸 博雄	27	H18.11.18	小松の天領について一代官制度を中心としてー	宇佐美 孝
2	H10.10.17	近世小松町の魚問屋について	見瀬 和雄	28	H19.06.09	白山争論と加賀藩ー白山麓18ヶ村幕領化の成立事情ー	石野 友康
3	H10.12.05	利常の城下・小松	宇佐美 孝	29	H19.09.08	古文書講座「小松町方文書を読む」	袖吉 正樹
4	H11.06.26	秀吉時代の小松	室山 孝	30	H19.09.15	古文書講座「安宅町文書を読む」	袖吉 正樹
5	H11.10.23	町のくらしと文化ー江戸時代の小松・安宅のいぶきー	池田 仁子	31	H19.09.29	古文書講座「古文書解説講座」	袖吉 正樹
6	H12.03.11	小松町の諸産業ー絹業を中心としてー	袖吉 正樹	32	H19.11.17	白山麓十八ヶ村の歴史と生活	濱岡 伸也
7	H12.06.10	小松町のできごと	石田 文一	33	H20.06.07	白山麓における領主の変遷ー加藤藤兵衛から幕府領へー	見瀬 和雄
8	H12.10.28	古代におけるコシとイズモーオオクニヌシの来た道ー	森田喜久男	34	H20.08.30	古文書講座「西谷五ヶ村 人々の暮らし」	袖吉 正樹
9	H12.12.02	小松の焼物ー小松瓦の歴史を中心としてー	垣内光次郎	35	H20.09.06	古文書講座「白山麓幕府領の代官」	宇佐美 孝
10	H13.05.26	明治期の輸出九谷	太多 誠	36	H20.09.20	古文書講座「白山争論と白山麓幕領の成立」	石野 友康
11	H13.09.29	莊園に生きた人々ー小松地方の莊園ー	清水 郁夫	37	H20.11.15	幕末維新期の白山麓ー西谷五ヶ村を中心にー	堀井 美里
12	H13.12.01	一向一揆と松岡寺	木越 祐馨	38	H21.07.04	石堂の神仏	垣内光次郎
13	H14.06.29	小松の中世禪宗寺院を語る	室山 孝	39	H21.08.22	古文書講座「矢崎村文書を読む①」	宇佐美 孝
14	H14.10.05	古代北陸道と加賀国府	三浦 純夫	40	H21.09.05	古文書講座「矢崎村文書を読む②」	宇佐美 孝
15	H14.11.30	小松の曳山ー子ども狂言芝居のおもしろさー	和田 修	41	H21.09.26	小松の絵馬文化ー荘厳・祈り・記憶ー	戸澗 幹夫
16	H15.06.14	祭礼風流からみる小松の曳山	福原 敏男	42	H21.11.28	小松の造形文化	北 春千代
17	H15.09.27	曳山を動かす人々	小林 忠雄	43	H22.07.03	近世小松の仏教ー真宗寺院と惣道場の成立をめぐってー	木越 祐馨
18	H15.11.16	安宅湊と北前船	木越 隆三	44	H22.07.24	古文書講座「近世から見る浅井駿河戦」	池田 仁子
19	H16.06.05	波涛を越えた小松・安宅の渡海船ー客船帳を迫ってー	清水 郁夫	45	H22.07.31	古文書講座「安宅資料から見る海運の盛衰」	池田 仁子
20	H16.09.11	安宅廻船業の経営ー船道組合を中心としてー	松村 敏	46	H22.08.07	古文書講座「金子鶴村と集義堂周辺」	池田 仁子
21	H16.11.14	小松の文芸ー陣出達朗ー	井口 哲郎	47	H22.09.04	近世小松町の神社	東四柳史明
22	H17.06.18	海運に生きた人々ー安宅・小松と諸港を結ぶ通信文ー	池田 仁子	48	H23.07.09	御上使と小松	宇佐美 孝
23	H17.09.10	小松の俳人ー小松俳句にみる小松ー	綿抜 豊昭	49	H23.09.10	古文書講座「廻船問屋酒井家文書を読む①」	池田 仁子
24	H17.11.19	小松の漢詩人たちー自然と歴史を詠う郷土の漢詩ー	大西 勉	50	H23.09.17	古文書講座「廻船問屋酒井家文書を読む②」	池田 仁子
25	H18.06.10	古典文芸にみる小松ー「平家物語」と「判官物」の世界ー	清水 郁夫	51	H23.10.08	古文書講座「廻船問屋酒井家文書を読む③」	池田 仁子
26	H18.09.09	串茶屋の廓／串茶屋の遊女と文芸	山前／山本恭子	52	H23.12.17	国人本折氏について	東四柳史明

『新修 小松市史 通史編 I・II』

仕様：B5版 上製本 布装丁 貼ケース入り
価格：5,400円(税込)(来年1月より定価7,000円)
販売所：市史担当事務局・うつのみや城南店・明文堂書店

市史講座は102回を数え、I期分(1~10巻)52

回をまとめました。執筆に当たった委員の皆様が掲載した内容についてや調査等で発見した事項について講話していただきました。

<12月のカレンダー> 開室時間 10:00~17:00(火~金)/9:00~17:00(土)

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
11/26	11/27	11/28	11/29	11/30	1	2
3	4	5	5	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6

* [] は市史担当の事務局は閉室しています。

小松市史担当（小松市立図書館2階）

- ・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19 芦城公園内
- ・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763
- ・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・URL <https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/1048/shishitantou/index.html>

